

島根県消防学校だよりvol.11

初任総合教育 第55期



～「One for all all for one」～

私達(初任総合教育第55期)が消防学校に入校してから6ヶ月が経ちました。まだ毎日が慣れない事が多く厳しい訓練生活が続いていますが、第55期のスローガンである「one for all, all for one」の気持ちを持ってお互いに助け合いながら毎日を乗り越えています。今回、これまでの教育訓練の状況を報告します。これからも厳しい訓練は続きますが残り2ヶ月間ここでの生活を1日1日大切に過ごし、消防士としてふさわしい人材になれるよう今まで以上に努力し、全員で助け合い頑張っていきますので、教官をはじめ先輩職員の皆様よろしくお願ひします。

～消火活動訓練～



6月に入り、訓練も本格的になってきました。消火活動訓練では、建物が燃えていることを想定し、指令から消火までの流れを訓練しています。自分の身を守りながら火災をいち早く消すためにはどういった方法をとれば良いか小隊で話し合いながら訓練に臨んでいます。今は失敗が目立ちますが、これから更に訓練を繰り返してい、迅速かつ安全確実な消火活動ができるようにしていきます。

～体力錬成～

6月19日には松江市忌部町の忌部神社までランニングをしました。忌部神社には階段があり、それを利用したトレーニングも行い、約17kmの道のりを走りました。階段でのトレーニングは乳酸が溜まり、足が攣る人が続出しましたが、1人も脱落することなく無事に完走することができました。これから宍道湖一周スーパー体力錬成に向けて体力を今以上に向上させていきます。



7月9・10日に第2回体力調査を行いました。第1回体力調査の結果と比較するとほとんどの種目で平均記録を超えています。特にシャトルランと1,500m走の記録は大幅に更新し、また1,500m走の平均記録は歴代記録の5分9秒に迫る5分13秒でした。秋に行われる第3回体力調査では、自己ベストの更新や歴代記録の更新ができるように厳しい訓練やトレーニングに励みたいです。





～校内ポンプ操法大会～

私達は、消防活動の基本となる操法を約1ヶ月間訓練してきました。全く分からない状態で、初めはどう動いてい
いか分かりませんでした。自分たちで勉強し、また、教官と消防本部支援スタッフの皆様にご指導頂き、「操法」というものがどういったものなのか分かりました。課外の時間を使って各小隊毎訓練を重ねた結果、校内ポンプ操法大会では第7小隊（池田拓、池田陽、宮川、千代延4名の学生）が優勝し、優勝者は8月9日に益田市で開催される県の消防操法大会に出場することになりました。

当日の大会では、大勢の人前で大変緊張しましたが日頃の訓練成果を十分発揮し、防火衣を着装しての操法には、会場からの大きな拍手の下、見事標的を倒すことができ高い評価をいただきました。この経験を大切に、これからの活動に生かしていきたいです。

～オープンキャンパス～

8月5日に島根県消防学校オープンキャンパスを行いました。私達は、訓練礼式、防火衣着装、ポンプ操法、応急梯子操法、放水訓練の展示を行い、今までの訓練の成果を発表しました。まだまだ未熟で無駄な動きが多く、ミスもありましたが、消防という仕事を「見て、聞いて、感じた」ことにより、消防に熱い想いを抱いていただければと思います。また、初心の気持ちを思い出し、これからの訓練に励みたいです。



～鳥取県消防学校との合同訓練～

8月28日に鳥取県消防学校に行き、合同で訓練を行ってきました。防火衣・呼吸器の着装訓練では、消防学校対抗で競い合い、また、三連梯子やホース展張を互いに行いました。最後に行った想定訓練では、様々な課題を、鳥取県消防学校の学生と共同で協力し合いながら行いました。1日という短い時間ではありましたが、他の消防学校の初任教育学生と、訓練を行えた事は貴重な経験であり、お互いに刺激になったと思います。

～編集後記（事務局より）～

今年度第2回目の発行するにあたり、学生の成長ぶりを少しでもお届けしたいとの思いで、自治活動の一環として学生自らの手で編集をさせたところ。入校から6ヶ月が経ち救急科目も終了したところであり、いよいよ総合訓練へと最終ステージに向かい日々の訓練に励んでいます。

今年の火山噴火（口永良部島、桜島、阿蘇山）や台風、東日本豪雨災害等自然の驚異に関心を示してきており、学生も少しずつ「消防」という職業について「心の成長」ぶりが見られます。残り2ヶ月更に消防人として成長をしてもらいたいものです。

島根県消防学校

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-157

E-mail:syobogako@pref.shimane.lg.jp

Tel:0852-22-0166